

町長年頭あいさつ



鏡野町長
山崎 親男

新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、希望に輝く新年をお
迎えることと、心からお慶び申し上
げます。

さて、昨年は日本列島各地で様々
な災害に見舞われた一年でありまし
た。

三月の東日本大震災に始まり、九
月には台風が本土を襲い紀伊半島を
はじめ、各所に大きな爪痕を残しま
した。

心よりお見舞い申し上げます。

迎えた新年は、引き続き厳しい社
会経済情勢は避けられず、また少子
高齢化の社会構造変化も一段と進行
してまいります。

成熟化した社会はややもすれば、
目標を見失い、活力を無くします。

そうであれば今後の町政は一人ひ
とりが自立し、他方では共に支えあ
う「共生の社会」の実現でなくては

なりません。

そのため本町では、未来に希望が
広がる地域づくりを目指し、町民と
行政の協働のまちづくりを推進する
ため、「鏡野町未来・希望基金事業」
を展開しています。

「自分たちの地域は自分たちで創
る」という考えのもとに、行政と地
域との役割分担を進め、町民と行政
の協働のまちづくりに取り組んでい
るところです。

今年も厳しい経済情勢が続くこと
が予想される中、より一層の財政健
全化に努めてまいります。

併せて、安心・安全のまちづくり
や子育て支援対策事業、更には雇
用・定住化の促進事業など将来の鏡
野町を見据えた町政運営に取り組み、
町民の皆様が笑顔で暮らせるまちづ
くりに進めてまいります。

どうぞ本年も引き続きご支援、ご
協力いただきますようお願い致しま
す。

本年が皆様方にとって幸多き一年
となりますよう心からお祈り申し上
げ新年のご挨拶といたします。

平成二十四年 元旦

議長年頭あいさつ



鏡野町議会
議長
河田 紘

あけましておめでとうございます。

日頃は、鏡野町議会に対しまして、
あたたかいご理解、ご協力を賜って
おりますことに感謝とお礼を申し上
げます。

さて、昨年三月の東日本大震災は、
未曾有の大災害となり、これに伴う
原発事故の放射能汚染の問題もあり、
未だ多くの方々が避難を余儀なくさ
れておられます。

心よりお見舞い申し上げます。

さて、わが国の状況に目を向けま
すと、景気は依然として厳しく、雇
用情勢も明るい兆しが一向に見えて
おりません。また、当議会も反対決
議をしたTPP交渉であります。政
府は交渉開始を決定いたしました。
農業従事者にとっては、不安を拭
いさることが出来ません。

わが町においても、少子高齢化対
策、産業の振興、中山間地の活性化

といった喫緊の課題を抱えています。

町民の目線に立ち、地域の課題を
ひとつひとつ確実に解決していく、
まさに地方自治の自立が強く求めら
れていると感じております。

もとより、首長と議会という二元
代表制の一翼を担う町議会は、町が
行う事務事業を検証する責務がござ
います。

さらには、緊急な課題に応じた
様々な政策提言を行うなど、その機
能・役割を強化、発揮することが重
要であります。

行財政が厳しい時代ではあります
が、皆様の信託に応えるため、議会
議員自らが研鑽意欲を緩める事なく、
生活の安定と町の活性化に努めてま
いる所存であります。

この一年が、町民の皆様にとりま
して素晴らしい年となりますことを
心からお祈り申し上げます。新年
のごあいさつといたします。

平成二十四年 元旦